

彼方「かなた」

校長通信

H24.4.16

Vol.6

【先週の朝の打合せで話したこと】

初日、四月二日の朝の打合せは「笑顔」のお話でした。職員同士が「笑顔」で仕事ができれば、必ずチームになれます。チームで事に当たれば子ども達によりよく成長します。まずは、眉間のしわを消し、口角を上げ、明るく「笑顔の挨拶」から始めよう！

二日目、四月三日は、「出会い」のお話しでした。学校の中には幾つか鍵になる「出会い」があります。学級開きは、担任の先生と子ども達との大切な出会いの場です。一年間の学級経営がこの出会いで決まってしまうとまで言われています。担任が自分を語り、夢を具体的な絵になるように語ることが大切です。学級開きまでに何をどのように話すかイメージトレーニングする宿題を出しました。

三日目、四月四日は、「時間を守る」というお話です。聖路加病院理事長 日野原先生が小学校三年生に向けて「命の授業」を行っています。その中で「命は体の中のどこにあるか見せることはできない。しかし、君たちは自分の意思で使える時間を持っている。これが命なのだ」と子どもたちに説明しています。「長生きをすれば人のために時間が使える」とも話しています。だから、「時間を大切にする」というのは「命を大切にする」ということなのです。約束の時間を守れないのは、周囲を大切にできないこと

になるというお話をさせていただきました。

それから、「モデルになる」というお話も「時間を守る」というのに絡めて話をさせてもらいました。

先輩教師が、若い先生に良い手本を示し、モデルとなる。すると若い先生の真似を生徒が出てくる。率先して動き、時間を守る先生に育てられた子ども達は、きちんとルールを意識できる生徒になります。

だからどの先生も良いモデルになろうというお話をさせていただきますました。

いよいよ四月五日は、始業式、出会いの日です。自分に言い聞かせるように第一印象について話をしました。教務主任の羽場先生が、ファースト・イン

プレッションについて話してくれましたので、「笑顔」を忘れず、明るく子ども達に接し、もう一度会いたくなるような前向きで笑顔のすてきな先生を目指そうという話をしました。

どの学級でも先生方が熱く語っていました。二、三年生はよいスタートが切れました。

四月六日の朝の打合せは、学校を休んでいる「子どもの気持ちをわかる先生」について話をしました。

来たくても来られない、初日に登校できなかったことに悔しい思いをしている子どもの気持ちを察する先生になろう！というお話をしました。始業式の日

に登校できなかった仲間がいましたが、その日に配布された教科書やプリント類がその日の内に届けられていない状況もありました。「教育」は、「今日行く」です。大阪大学の野口教授がおっしゃっていました。事前に行けば「説明」、でも、事が起こってか

ら行けば「言い訳」としかとられないのです。子ども

の気持ちに寄り添える教師集団になろう！というお話をしました。

四月九日いよいよ入学式です。二、三年生が本当によく頑張つて準備をしてくれたことに感謝する大変気持ちの良い朝の打合せでした。笑顔満載、幸せ満載のスタートでした。楽しいなー！

四月十日は、今月の指導のポイントを話しました。四月「ルールづくり」が大切というお話です。

- ・一緒につくる！（押しつけない！）
- ・説明できるルールを！「どうしてだと思おう？」
- ・できるまで待つ！
- ・無理なルールは改善する！

できないと怒るといふ指導ではなく、分かってもらえるまで一緒に付き合う指導を頑張ろう！

四月十二日は、産経新聞の記事を紹介しました。柳田国男の回顧録にある『小学校教育のころから「分かりません」といふことをいへる人間をほめてやるやうな教育法をすることだ』という内容から、私たちが進めるべき研究の方向性を話しました。

四月十三日は、「絶対に許さない！」生徒指導は、生徒の進むべきゴールを具体的にイメージさせ、最後まで付き合う指導のことであるという話をしました。怒つて終わりの生徒指導では、自主的に行動改善する生徒の育成にはつながらないというお話です。幸せなことに毎朝職員打合せを持つことができま

す。少しずつ自分の考えを共有してもらえるのは本当にありがたいことです。特に若い先生方には、学んだことをどのように行動化するかを考え、生徒に寄り添って欲しいと思います。

【先週の朝の打合せで話したこと2】

全国学力状況調査が実施されました。その際に先生方に話をしたことは、B問題（いわゆる活用型の学力）に対する解決力を高めるために私たち教師が普段心がけていかなければならないことは何かということです。全員が「わかった!」「できた!」という授業を作り続けていくこと、「教えて!」と聞かれたら「いいよ!」と言える人間関係を学級内につくること、自分の考えを説明する場をつくること、グループ内の関係づくりを意図的に行うこと、教科のルールを早めに定着させることなどを話しました。

朝の職員打合せを毎日行っています。校長としての考えや進むべき方向性を朝の短い時間の中でも伝えたくて、毎朝元気に打ち合わせしています!

四月がスタートして朝早くから夜遅くまで休み無く働き続けている先生方にタイムマネジメントのお話をさせていただきました。一週間を七日で考えていると月曜から金曜まで通常の日課の中で必死に働き、土曜日は部活動に顔を出し、日曜日は大会引率となると全く休みのない生活になってしまいます。

そこで、一週間を七日×二十四時間＝一六八時間と考えて、自分が自由に使える時間を考えると、かなりあることに気づきます。年度始めの忙しい時期だからこそ気持ちを楽にする方法を自分なりに見つけて健康管理に努めて欲しいということを話しました。

本校の先生方は本場に働き者です。どの先生も子ども達のために自分ができることを考えて一生懸命

です。頭が下がります。だからこそ上手にタイムマネジメントして欲しいのです。

初期対応について話した日もありました。「ああしておけば良かった」「こうやって話しておけば良かった」という後悔は、文字通り後で悔やむのです。でも私たちが心がけなければならないのは、ことが起きたときの初期対応です。初動体制ができていれば大きな問題にならずにすむことが案外多いものです。事前に説明することで、指導の効果があがったり、すぐに対応することで人間関係がうまく行くようになったりと早い対応がもたらす成果は絶大です。